

令和7年度 第2回 大阪市立福小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立福小学校

校長 立 野 岡 克

| | | | |
|----------|----------|--|---|
| 日 時 | | 令和7年11月11日 火曜日 | |
| 場 所 | | 福小学校 校長室 | |
| 出席者 | 委員 など | 委員5名 | |
| | 校 園 | 校長 教頭 | |
| | 区役所 | なし | |
| 議題 | | (1) 令和7年度 運営に関する計画について（中間報告） (2) 学校生活を振り返るアンケート結果報告 (3) 全国学力学習状況調査 結果報告 (4) その他質疑応答 | |
| 協議 要旨 | | 協議の結果 | |
| | | 意見の概要 | |
| | | (1) ○令和7年度 運営に関する計画についての中間報告を行った。 ・概ね計画通り進んでいる。さらに達成へむけて取り組みを見直し、取り組んでいく。特に「未来を切り拓く学力・体力の向上」の、取組内容②「4. 誰一人取り残さない学力の向上」で、朝学での取り組みやタブレット端末でのデジタルドリルの学習をさらに行い、言語活動の充実を図る。 ・取組内容③「5. 健やかな体の育成」では、たてわり班活動を通して異学年で運動に取り組んだり、運動週間を設定し運動に親しんだりする取り組みを増やしていく。 | ・学力UPについてさらに取り組んでほしい。 ・学校の特色である、少人数のきめ細かい指導をさらに行ってほしい。 ・少人数の取り組みの良さを運営の計画に盛り込んでも良いと思う。 ・計画達成にむけて、家庭・地域も協力していく。 ・不登校児童も地域で引き続き見守っていききたい。 |
| | | (2) ○学校生活を振り返るアンケート結果について説明を行った。 ・⑤「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目では、肯定的な回答が100%となっている。児童一人ひとりがいじめに対して認識を持っていることがわかる。 | ・家庭の協力や学校での取り組みで、生活態度が変わってきている。 ・地域でも挨拶を元気に返してくれる。 |

| | | |
|------|---|---|
| | <p>(3) ○令和 7 年度全国学力状況調査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数とも結果は、全国、大阪市を下回る結果となったが、国語に関しては、昨年度より 3P 上げることができた。昨年度より研究教科を国語科とし言語事項の基礎基本の定着に取り組んでいる。引き続き指導を続け学力向上を目指す。 | <p>・少人数だから、一人二人の差で平均点が大きく変わっていくと思う。</p> |
| 協議資料 | <p>令和 7 年度運営に関する計画（中間報告） 学校生活を振り返るアンケート結果 令和 7 年度全国学力状況調査結果</p> | |
| 備考 | <p>傍聴者[0]名</p> | |